

～ 『アフターコロナ』の大不況時代を乗り切る!! ～

# 問題意識・危機感の共有化による 「戦いに勝つ」組織体制構築方法

講師：(株) トータルマネジメントシステム研究所 代表取締役 角川 真也 (つのかわ まさや)

## 『100年に一度』の経済危機の到来

2019年末から全世界を襲ったコロナウィルスの影響で、1929年の世界大恐慌以来の大不況の到来が予測されています。この未曾有の危機に際し各社とも生き残りを掛けた戦いがすでに始まっていますが、この戦いに勝ち残るにはいち早く社内を「臨戦態勢」にする必要があります。これから社外との戦いが激化するということに、社内で争っている(労使の足並みがそろわない、部署間でいがみ合っている、上司・部下間に不信感がある等)ようでは戦う前から負けています。御社は大丈夫でしょうか？

## 経営危機を乗り切る第一歩

このような経営環境下、経営陣から従業員にお願いしたいことは山ほどおありでしょうが、ここはまず従業員の「本音」に耳を傾けてはいかがでしょうか？ 普段は建前を優先している我々日本人ですが、建前で乗り切れるほど今回の大不況は生易しいものではありません。従業員全員の不安と危機感そして問題意識を「見える化」および共有化することにより初めて、御社は戦いに臨む態勢が築けます。アフターコロナを生き抜くためのファーストステップとしてこれに勝るものはありません。今ならまだ間に合います。この機会に迷わずご受講ください。

## 当セミナーで習得できるノウハウ

- (1) 従業員の本音(悩み・困りごと・危機感・提言)を数値データで定量的に把握する方法
- (2) 会社(部署)の問題点を「見える化」する方法
- (3) 問題点の分析および対策立案方法
- (4) 対策推進方法
- (5) 臨戦態勢構築方法

## ノウハウの実施に必要なもの

- ①社内ネットワーク(LAN) ②マンパワー ③従業員(部下)の「本音」と向き合う勇氣

## ■ 受講対象者

経営者、総務(人事)・管理・業務改革部門の管理職  
自社の存続に危機感を感じている方(部署・職位等一切不問)

## ■ セミナー内容

1. これから我々を待ち受ける世界
  - 1) 『アフターコロナ』とはどんな時代なのか?
  - 2) 会社存続のために今すべきこと
2. 「臨戦態勢」を築く
  - 1) なぜ臨戦態勢が必要なのか?
  - 2) 臨戦態勢構築の3ステップ
3. 従業員の「本音」を把握する
  - 1) 日本人から本音を引き出すのは難しい
  - 2) 『ストレスチェック』に学ぶアンケート設計
  - 3) 従業員の不安感・不信感を取り除く実施方法
  - 4) 数値データで定量的に本音を把握する方法
4. 従業員の「本音」を分析する
  - 1) 問題点を分類・整理し評価するランキング表
  - 2) 真の問題は組織風土とマネジメントにある
5. 対策を立案する
  - 1) 個別対策と根本対策
  - 2) 全問題の80%を解決する2つの根本対策
    - ① 組織マネジメントシステム
    - ② 人財育成システム
6. 対策を推進する
  - 1) トップダウンとボトムアップの併用が成功の秘訣
  - 2) 進捗管理不要の推進方法
7. 情報を共有化する
  - 1) 「臨戦態勢」を一瞬で築く方法
  - 2) 集計・分析データの管理方法
8. 実施目的別事例紹介(4社)
  - 1) 快適職場構築 (製造業 (従業員数:700人))
  - 2) 従業員定着率向上 (サービス業 (従業員数:7人))
  - 3) 事業承継 (施工管理会社 (従業員数:10人))
  - 4) 生産性向上 (製造業 (従業員数:13,000人))
  - 5) 実施事業所の声

**【講師略歴】** 中堅部材メーカーにおいて社内コンサルとして間接業務の「見える化」「最小化(ムダ取り+効率化)」「標準化」手法を全社展開、生産性を300%向上させ会社倒産の危機を救う。独立後は『組織マネジメントシステム(ERP)』自社構築による間接業務の生産性向上手法普及に専従。数値データ(時間・金額)を駆使した科学的マネジメント手法による組織パフォーマンス向上を得意とする(「TMS研」でHP検索可)。セミナー開催実績:121回/11年、受講者累計:2,000名以上、受講者評価:平均77.8点、著書『R&D部門の働き方改革とその進め方』(技術情報協会刊・共著)

- 開催日時 御社のご希望の日時(4時間)
- 聴講方法 WEBセミナー(zoom使用)
- 受講料 59,800円/人(消費税・教材の送料含む)
- 主催 (株)トータルマネジメントシステム研究所(「TMS研」でHPを検索できます)